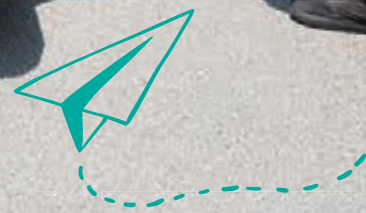
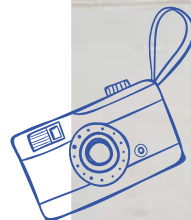


年間事業報告書



ANNUAL REPORT



2025

2024.11-2025.10



「公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を」
へのお問い合わせは

☎ 03-6280-3214

<https://www.yumewo.org/>

[受付時間] 平日9:30~17:00

〒104-0042 東京都中央区入船2-9-10 五條ビル 4A

沖縄事務所 〒904-0417 沖縄県国頭郡恩納村真栄田3537-2 青と碧と白と沖縄

佐賀事務所 〒849-5131 佐賀県唐津市浜玉町浜崎1108番 4

2026年1月発行



公益社団法人
難病の子どもとその家族へ夢を

Organization Overview

団体概要



「公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を」
[通称: Hope&Wish (ホープ&ウィッシュ)] は、
家族皆が心から笑いあえる時間と場、機会を提供しています。

◎Give & Give いのち、を社会で育み合う
難病を患う子どもとその家族との永続的な交流を機に、
“家族・いのち・しあわせ”を社会で共に育み合う場を創出します。

社名 公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を [通称: Hope & Wish(ホープ&ウィッシュ)]
設立 2010年3月 一般社団法人設立
 2012年11月 公益社団法人認定(内閣府)
 米国フロリダ州非営利慈善団体
 「ギブ・キッズ・ザ・ワールド」認証姉妹団体

ミッション 難病を患う子どもとその家族との永続的な交流をもとに、“家族・いのち・しあわせ”を社会で共に育み合う場を創出します。この活動によって、女性力の向上、少子化社会対策、ダイバーシティ対策、クオリティー・オブ・ハピネス(QOH)の価値観の創出を促すことを目的としています。

- 活動内容**
- ウィッシュ・パッケージ(旅行中の社会的ケアや金銭面も含め、難病を患う子どもとその家族全員に楽しんでいただくパッケージ)の実施
 - ご家族のレスパイト(休息)のためのレスパイトホテル「青と碧と白と沖縄」の管理運営
 - 当団体の活動に参加されたご家族の姿を描いたドキュメンタリー映画『Given～いま、ここ、にあるしあわせ～』の企画・製作及び上映
 - 当団体の活動に参加された母たちによる女性和太鼓奏団「ひまわりのやうに」運営支援
 - 当団体の活動経験を活かした小児訪問看護ステーション「ダイジョブ」の管理運営
 - 故・日野原重明先生追悼プロジェクト「いのちの授業」の実施運営
 - 難病の子どもと家族へ就労支援をする、職業紹介事業所「出番です!」の管理運営
 - 児童発達支援事業「ダイジョブ・プラス」の管理運営

代表 大住 力(元株式会社 オリエンタルランド)

永久最高顧問 日野原 重明(元 聖路加国際病院 名誉院長)
 ※2017年 7月逝去 享年105歳
 野中 郁次郎 (元 一橋大学 名誉教授)
 ※2025年 1月逝去 享年89歳

顧問 細谷 亮太 (元 聖路加国際病院小児総合医療センター長)
アドバイザー OBI HOLDINGS PTE.LTD. 代表 永山 要ほか



大住 力



日野原 重明



野中 郁次郎



細谷 亮太

所在地 〒104-0042 東京都中央区入船2-9-10五條ビル 4A
連絡先 TEL » 03-6280-3214 FAX » 03-6280-3215
 URL » <https://www.yumewo.org/> Email » info@yumewo.org
 FB » <https://www.facebook.com/yumewo.org>

沖縄事務所 〒904-0417 沖縄県国頭郡恩納村真栄田3537-2 青と碧と白と沖縄
佐賀事務所 〒849-5131 佐賀県唐津市浜玉町浜崎1108番 4

御礼とご挨拶

日頃より、Hope&Wish 公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を の活動にご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
 設立して16年目を迎え、出逢えた家族と永続的に人生を共にし、寄り添い続けることを大切に、という一貫したポリシーのもと、活動を進めてまいりました。難病を患う子どもとその家族との関係は、決して一時的なもの、ことではないということです。

佐賀県に住む5人家族とは、ちょうど10年前に出逢いました。二分脊椎という重い障害を患っている長男は、今や二十歳になり、大学生として歩んでいます。当時、小学校1年生だった弟も高校生に成長し、いよいよ父の家業を継ぐ?のか悩んでいる時期にまで成長されました。この家族との関係は今も深く続いています。当法人が推進しているふるさと納税の返礼品として牡蠣をお渡ししていますが、その牡蠣を育ててくださっているのがこの家族なのです。かつて私たちが応援していた家族が、今度は私たちの活動を支えてくれる。この循環こそが、永続的な関係の証です。

また、宮城県の5人家族で、先天性の脳腫瘍を患っていた当時6歳の女の子は、今や19歳となり、父が設立した通所支援の施設で毎日を元気に過ごしています。当時小学生だった彼女の兄は、今や農協に勤める立派な社会人になりました。
 この家族にも忘れられない出来事があります。2019年の台風で近くの川が氾濫し、施設も田んぼも絶望的な状態になりました。しかし、父は決してその状況を諦めず、またゼロから一つ一つ、作り直されたのです。そして今、父が丹精込めて育てた美味しいお米を、毎年のように私たちに送ってくださっています。そのお米は、私たちが管理運営する沖縄のレスパイトホテル「青と碧と白と沖縄」で、ゲストの皆さまに振る舞わせていただいています。遠く宮城県から届く真心のこもったお米が、沖縄の地で多くの方々に笑顔にしています。

そして、鹿児島県奄美大島の7人家族からも、先日、嬉しい知らせをいただきました。私たちの活動がまだ始まったばかりの2010年の秋、東京ディズニーリゾートに招待した急性リンパ性白血病と必死に向き合っていた当時5歳の男の子は、今や寛解を経て、立派に二十歳を迎え、なんとこの春に東京で就職されるという嬉しいお知らせでした。姉や兄もそれぞれ結婚され、二人の兄は父親になり、今や大家族に成長しました。
 実は私たちの東京のオフィスには、今でも大事に飾っている一升瓶があります。それは、彼の名前がそのラベルに大きく書かれた鹿児島の焼酎です。いつか彼が二十歳になったら、家族と一緒に乾杯、と父が祈念して造った焼酎です。私たちもこの焼酎を囲んで、彼の成人を祝い、家族と共に喜びを分かち合う日を心から楽しみにしていました。これまでの家族の頑張りを共に噛みしめながら、乾杯し、今年度も一年をスタートさせたいと思っています。

佐賀のご家族が育てる牡蠣、宮城のご家族が育てるお米、そして奄美大島の家族と分かち合う焼酎。これらはすべて、長い年月をかけて育まれた信頼と絆の証です。応援する側と応援される側という一方の関係ではなく、互いに支え合い、喜びを分かち合う。そのような温かな関係が、ここにあります。
 私たちは、一度きりの応援や一時的な交流で終わることを望んでいません。出逢えた家族とは、10年、20年と時を重ね、人生の節目節目にも寄り添い続けたいのです。子どもたちの成長を看守り、家族の喜びを共に喜び、時には困難な時期も共に歩む。そうした永続的な関係こそが、私たちの目指す応援の形です。

新年度を迎えるにあたり、私たちは改めて決意を新たにいたします。出逢えたすべての家族と、永続的に人生を共にしていくこと。一時的な応援で終わらせることなく、長い時間をかけて信頼関係を築き、家族の人生に真摯に向き合い続けること。これこそが、Hope&Wishの使命であると確信しています。
 どうぞ今年度も、変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

Hope & Wish 「公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を」

代表

大住 力



CONTENTS

団体概要	P1
御礼とご挨拶	P2
私たちが目指す流れ	P3
「青と碧と白と沖縄」	P5
ウィッシュ・パッケージ	P6
LOVE FAMILY CHARITY CUP -HOPE IN ONE-	P7
世界一のラブレター・コンクール 小児訪問看護ステーション「ダイジョブ」	P8
本年度の主な活動	P9
Special Thanks	P13
私たちの道のり、そして、これから	P15
財務会計報告	P17
さまざまな支援方法・寄付使途	P18

Value Map - 私たちの活動 -

私たちが目指す流れ

私たちはこれまで活動を通じて、約388家族と出会い、交流を深めています。そして、何よりも強く感じるのは、“家族・いのち・しあわせ”という生きる本質について、本気で向き合っている考え方や生きざまの素晴らしさです。私たちはこのような家族のさまざまな“チカラ”を、社会に還元し、社会全体を生きる喜びで明るくする活動を目指しています。



Our Mission

Mental & Social Health

病気を患っていても家族全員の心と、社会と生きる健康をつくる

ウィッシュ・パッケージ シンデレラ・プログラム
小児訪問看護ステーション「ダイジョブ」
児童発達支援「ダイジョブ・プラス」
職業紹介事業「出番です！」



Here in Heaven

いま、ここ、に生きている天国はここ、にある

「青と碧と白と沖繩」
女性和太鼓奏団「ひまわりのやうに」
ドキュメンタリー映画『Given ~いま、ここ、にあるしあわせ~』



Your Mission

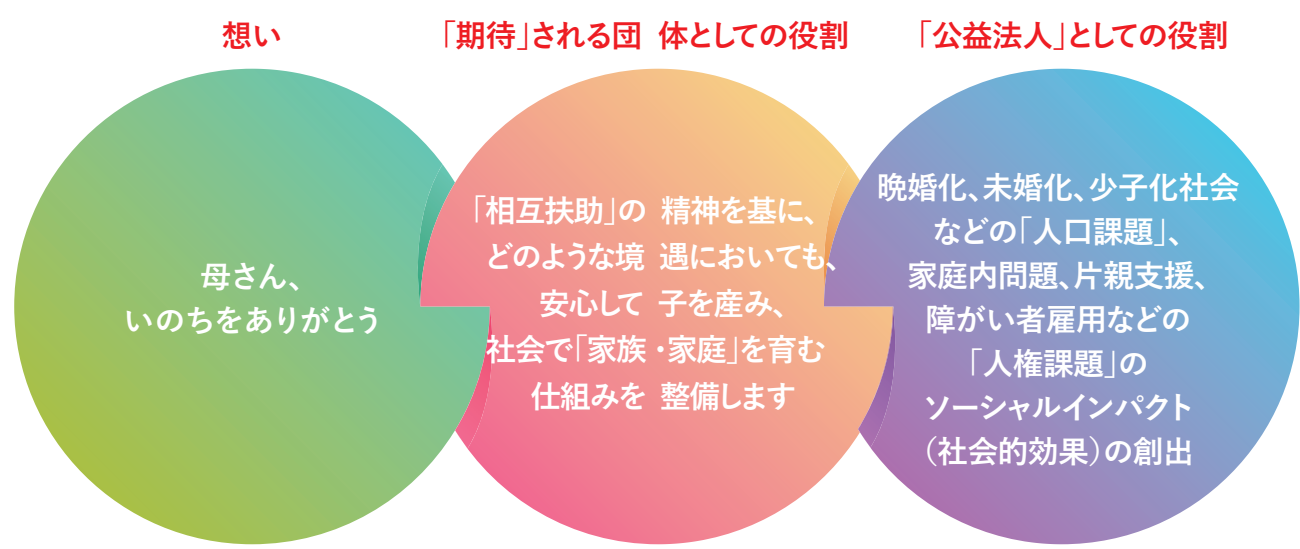
いのちの意味と役割を育む

いのちの授業
いのちの講師養成
世界一のラブレター・コンクール





レスパイトホテル「青と碧と白と沖繩」設計
中村拓志著「建築のブレイクスルー」より引用



青と碧と白と沖縄

あおとあおとしろとおきなわ



青と碧と白と沖縄は、どなたにでも宿泊、休息いただけるレスパイトホテルです

所在地：沖縄県国頭郡恩納村字真栄田3537-2

みんなの一時休息のために

「青と碧と白と沖縄」は、2020年3月に開業して以来、おかげさまで丸5年を迎えることができました。客室は3室と小規模なホテルではありますが、難病を患うご家族の他にも観光客の方々など、どなたでも気軽にご利用いただけるホテルとして運営しております。開業時はちょうど新型コロナウイルス感染症の世界的流行が始まり、その収束に至るまでの約3年間は、休館や再開の連続で、思うような運営ができない厳しい時期が続きました。しかし、コロナ禍がようやく落ち着きを見せた、この2年間は多くのお客様にお越しいただけるようになり、ホテルとして本来の姿を取り戻すことができました。

当ホテルのテーマは「レスパイト」、つまり「一時休息」という意味を込めています。難病を患っている方の看病が続く毎日、心身ともに疲れている家族に、日常とは離れた環境の中で、ほんの少しでも休息の時間を提供したいという思いがあります。また、毎日、仕事や家事、育児などに追われ、心身ともに疲れを感じている社会の方々にも、精神的にも「自己に還る」場所でありたいと考えています。

これまでの活動でお世話になった方々が「やっと来ることができた!」と喜んでくださる姿を見ると、私たちも心から嬉しく思います。そのような方々に精一杯のおもてなしをさせていただくことが、私たちにとっても大きな喜びとなっています。

これからも、訪れてくださる全ての方々に安らぎと癒しの時間を提供できるよう、スタッフ一同努めてまいります。



Wish Vacation

家族全員旅行 ウィッシュ・バケーション

僕らはみんなと生きている

ウィッシュ・バケーションは、全国各地域の方々が、難病を患う家族を応援する、応援したいという気持ちをもとに、現在12箇所の場で、企業・団体の方々の協力・支援のもと実施しています。

2024年に行ったウィッシュ・バケーションでは、迎えてくださった地域の方のご家庭に新しい命を授かったと聞いていましたが、よく聞いてみると、脳に障がいがあるかもしれないとのことで、その方も辛い環境のなかで、私たちのプログラムに協力していただきました。夜遅くまで招待した家族を迎え入れ、その後で自分の妻と子どもが病氣と向き合っている病院へ急ぎ、対応していただきました。

ウィッシュ・バケーションは、支援される人と支援する人が分け隔てられているのではなく、一緒に今を生きる、みんなと生きていく、という心のもとに行われています。

僕らはみんなと生きている、のです。



2026年 札幌・軽井沢・福岡など、新しい場でのウィッシュ・バケーションを準備、計画中です

誰が参加できるの?

- 難病のため闘病中、通院中のお子さま（0～20歳未満）とご家族全員※難病指定外の方もご相談ください
- 家族全員で前向きに参加できるご家族
- 担当医師より旅行外泊許可を得られる方（家族全員旅行ウィッシュ・バケーションをご希望の場合）

※主要駅からの交通費・宿泊費・テーマパークチケット代は、当方より無償にて提供いたします。
※その他、別途発生いたしました費用はご負担をお願いする場合がございます。



HOPE IN ONE



チャリティーゴルフイベント
第一回 LOVE FAMILY CHARITY CUP -HOPE IN ONE-
開催しました!



2025年12月18日(木)、千葉県成田市のグリッサンド ゴルフ クラブにて、第1回「LOVE FAMILY CHARITY CUP -HOPE IN ONE-」を開催いたしました。

本イベントは、「ゴルフ場からチャリティーを」をコンセプトに、難病と患う子どもたちとその家族を支援することを目的としたチャリティーゴルフ大会です。大会アンバサダーに横峯さくらプロを迎え、女子プロゴルファー14名とアマチュア参加者42名の計56名が参加し、ゴルフを楽しんでいただき、更にオークションでご寄付を募りました。

当法人では、難病を患う子どもたちを支えるためには、子ども本人だけでなく、その家族全体を含めた支援が不可欠であると考えています。しかし、従来型の「支援」という一方向的な関係ではなく、難病家族・支援者・寄付者という3者が互いに「応援」し合い、共に成長する「相互成長モデル」を実践しています。

今回のチャリティーゴルフ大会は、その理念を具現化する新しい試みです。ゴルフという、時間に追われず、ゆとりを持って対話できるスポーツだからこそ生まれる交流と気づきを通じて、参加者一人ひとりが「家族とは何か」「生きるとは何か」をあらためて考える機会を提供することを目指しました。

当法人では、今後も本大会を継続的に開催し、人と人、家族と社会をつなぐ場として、支援の輪を広げていくことを目指してまいります。「量ではなく質を。一時的な感動ではなく、永続的な関係性を」

当法人が大切にしている理念のもと、本気で生きる人たちが出会い、本物のつながりを育み合う場として、「HOPE IN ONE」は歩み続けます。

Love Letter Concours



第一回 世界一のラブレター・コンクール



世界一の
ラブレター・
コンクール

「世界一のラブレター・コンクール」とは、1年に一度、本気で“愛(ラブ)”をテーマに、世界中から“愛(ラブ)”を集めて発表するコンクールです。

“愛(ラブ)”には様々な“愛(ラブ)”があります。

このコンクールでは、誰かを愛する“愛”、自分自身を慈しみ愛する“愛”、ありがたい感謝の“愛”、ごめんねという反省や後悔の“愛”、そして逢いたくても逢えない想いの“愛”などをテーマに、世界中の多くの方からエピソードを応募し、コンクール形式で集計、その温もりを社会に発信していきます。

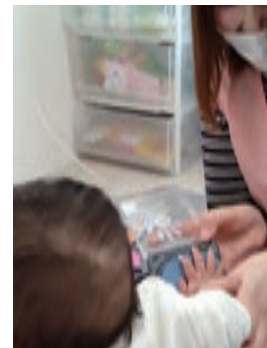
(第一回の応募は締め切らせていただいております)

発表、表彰式は2026年2月14日に開催いたします。

Daijob

日常サポート事業・小児訪問看護ステーション

ダイジョブ 小児訪問看護ステーション **ダイジョブ**



2025年、ダイジョブ設立より8年が経過しました。ダイジョブでは、退院してきた子どもが成長するために訪問看護として早期支援を行ってまいりました。

お子さまの特徴をご家族と共に捉え、“いま”必要とされるケアを提供することを心がけ、医療技術、ケアの工夫、リハビリ、療育への連携、早期支援、早期療育を目指しています。

また、育児の中心となるお母さん、お父さんの心身のケアも大切にしています。身体のケアや休息の確保、家族のサポーターとなる方への医療ケア方法の指導など、必要に応じた内容を心がけています。

きょうだいの成長にも大切に関わりながら、私たちはこれからも「その子らしく」、その「家族らしく」生活していけるように看護の提供をしていければと思っています。

●ダイジョブ 勉強会・研修会

ダイジョブでは、子どもたちが「安心・リラックス」できる予防環境をつくることを目指しています。研修などを主催し、学びを深めていきました。

●実習生の受け入れ

医療者、看護師を目指す実習生の受け入れも積極的に行っています。

●「はるマルシェ」の開催



ダイジョブのご家族同士、スタッフが、“日常”から一歩外へ出て交流できる場を作ることを一番の目的に、ご家族が身体も心も楽しめるように、今後も企画していきたいと思っております。



本年度の主な活動

12月

●チャリティーゴルフイベント
LOVE FAMILY CHARITY CUP
-HOPE IN ONE-
プロジェクト記者発表

2025年12月18日開催の LOVE FAMILY CHARITY CUP -HOPE IN ONE- に向け、大会アンパサダーの横峯さくらプロの就任、発起人会及びプロジェクト発表を行いました。



2月

●女性和太鼓奏団「ひまわりのやうに」演奏
栃木刑務所

栃木刑務所にて演奏とスピーチの機会をいただきました。「生きる」ことを受刑者へ伝え、演奏を通して、「ひまわりのやうに」の意義を強く感じる機会となりました。大変光栄なことに、栃木刑務所より「ひまわりのやうに」に対し表彰いただきました。



女性和太鼓奏団「ひまわりのやうに」
メンバー全員が難病を患う子どもを授かった母
たちで結成された和太鼓奏団です。2015年8月に
結成され、これまで様々なイベントや企業、刑務
所など多くの場所で演奏とスピーチを通して活動
をしています。

5月

●「軽井沢スポーツ祭2025」

軽井沢風越公園で開催された「軽井沢スポーツ祭2025」に難病の子どもとその家族を招待いただきました。プロのスポーツ選手たちとの交流を通して、多くの勇気をもたらすことができました。



●ウィッシュ・バケーション
@舞子スノーリゾート
報告会

雪景色から春の顔になった舞子にて、株式会社ホスピタリティオペレーションズの皆さまへ向け、3月実施のウィッシュ・バケーションの報告会を行いました。



2024/11

12

2025/1

2

3

4

5

6

3月

2025年3月15日 法人設立15年を経ました

●ウィッシュ・バケーション@舞子スノーリゾート

株式会社ホスピタリティオペレーションズ・株式会社舞子リゾートの皆さま、障がい者スキースクール・ネージュの皆さまのサポートのもと、家族みんなでスキー、スノーボードを楽しみました。



●女性和太鼓奏団「ひまわりのやうに」演奏
音楽イベント「ドラ娘2025」出演

神戸ハーバースタジオで行われたパーカッションの音楽イベント「ドラ娘2025」に出演しました。他のアーティストとのコラボレーション演奏も披露し、多くの方々に和太鼓の演奏を聴いていただきました。



6月

●ウィッシュ・バケーション@東京

難病の子どもとその家族を家族全員旅行へ招待し、東京ディズニーランド・浅草を訪れ、人力車やカリカチュア（似顔絵）等の体験をするプログラムを実施しました。



本年度の主な活動

7月

●「青と碧と白と沖縄」イベント

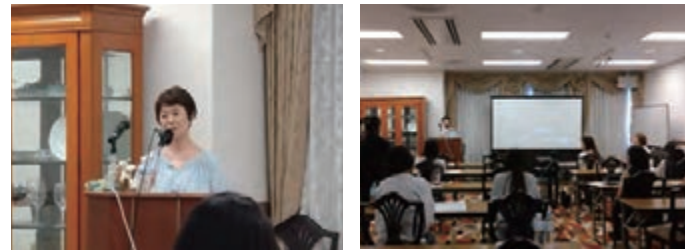
沖縄県恩納村にある「青と碧と白と沖縄」において、難病の子どもとその家族を支援するイベントを開催しました。地元の様々な料理、音楽を通して多くの方との交流の場にもなりました。



7

●訪問看護ステーション「ダイジョブ」小児看護研修

「ダイジョブ」では他のステーションや行政、病院等との連携を深め、より良い看護になることを目指し、研修を実施しています。今回は小児在宅看護の第一人者でもある梶原厚子さんを講師にお招きしました。



8

9月

●ウィッシュ・バケーション@京都るり溪

ASOBIYUKU京都るり溪温泉のご支援ご協力のもと、ウィッシュ・バケーションを実施しました。ハロウィンの仮装パーティーやイルミネーション、ドーナツ作りなど、様々な体験を楽しみました。



9

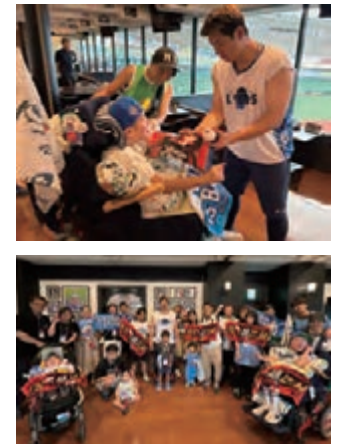
●ウィッシュ・バケーション@東京 報告会

6月に実施したウィッシュ・バケーション@東京の報告会を浅草で開催しました。



●プロ野球 炭谷銀仁朗選手 試合観戦&交流会②

炭谷銀仁朗選手から、交流会&試合観戦に招待いただき、多くの家族が参加しました。



10

9月

●シンデレラ・プログラム

七五三のお祝いをしたい!という願いのために、オリジナルのシンデレラ・プログラムを実施しました。着物を着て神社でお参りし、女子レスリング金メダリストの登坂絵莉さんもかけつけ、みんなで七五三をお祝いしました。



シンデレラ・プログラムって?
外出が困難なご家族のために病室やご自宅など、ご家族みんなが楽しめるオータメイドのプログラムを実施します。

●プロ野球 炭谷銀仁朗選手 試合観戦&交流会①

埼玉西武ライオンズ 炭谷銀仁朗選手から、交流会&試合観戦のご招待をいただき、多くの家族が参加しました。



10月

●ウィッシュ・バケーション@沖縄

カフーリゾートフチャクコンド・ホテルのご支援ご協力のもと、ウィッシュ・バケーションを開催しました。地元の農家さんや米軍関係者、興南高校の皆さまにもご協力いただき、沖縄の人のあたたかさ、自然を満喫しました。



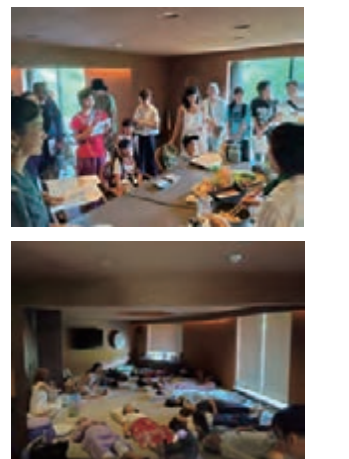
●ウィッシュ・バケーション@沖縄 報告会

ウィッシュ・バケーション@沖縄の報告会を沖縄の興南高校で開催しました。



●「青と碧と白と沖縄」イベント

「青と碧と白と沖縄」にて、沖縄の魅力を再発見するイベントを開催しました。地元の島野菜の料理教室、音楽を通じたサウンドバス（音浴）など実施しました。



Special Thanks

たくさんの愛をありがとうございます

本年も当団体の活動に、個人・企業・団体の皆さまから、熱いご支援・ご協力をいただきました。すべての皆さまに、心より深く感謝申し上げます。



カリカチュア・ジャパン株式会社様

■ドネーション(ご寄付)

当団体の活動を支えるための
ご寄付をいただきました。

個人・企業・団体
計 2166名・社(団体)

■協力団体

当団体の活動に“協働”、
ご協力をいただきました。

- 公益財団法人日本財団様
- 公益社団法人日本看護協会様
- 公益社団法人日本助産師会様
- 公益社団法人日本歯科医師会様
- 公益社団法人ガールスカウト日本連盟様
- 公益財団法人社会貢献支援財団様
- 公益財団法人日本財団ボランティアセンター様
- 新老人の会様 ほか

■メッセンジャー

当団体の想い・活動を
広く社会に伝えていただきました。

- 医師:故・日野原重明様
- 大学名誉教授:故・野中郁次郎様
- 医師:細谷亮太様 ほか



株式会社舞子リゾート様



OBI HOLDINGS PTE.LTD.様



一般社団法人HALO様



■アクション

当団体の活動「ウィッシュ・バケーション」において、物資やサービス提供を通じてご支援をいただきました。

- 宿泊施設やイベント会場をご提供
株式会社浦安ブライトンホテル様
株式会社KPG HOTEL&RESORT様
高野山真言宗 総本山金剛峯寺様
一般社団法人東京アメリカンクラブ様
株式会社ホロニック様
株式会社舞子リゾート様
株式会社カトープレジャーグループ様 ほか
- 参加者に、人力車による観光サービスをご提供
株式会社エビスエンタープライズ様
- 参加者に、名物商品、食事をご提供
浅草 花月堂様 肉や食堂inへんぎ様
東京・浅草大黒家天麩羅様 ほか
- 参加者に、似顔絵をご提供
カリカチュア・ジャパン株式会社様
- 参加者に、プログラムをご提供
多幸山株式会社様(琉球村) コープおきなわ様
一般社団法人HALO様 リラクゼーションエステYOU海様
株式会社めちまーす様 株式会社高江洲製塩所様
沖縄県エステティック・スパ協働組合様
日本郵船株式会社様 郵船クルーズ株式会社様
一般社団法人しまね地域医療支援センター様
アメリカ合衆国空軍嘉手納基地様 ほか
- 参加者に、医療面でのサポート
社団法人医療法人 敬愛会様(中頭病院)
医療法人 恕泉会様
医療法人 治久会様 ほか
- 参加したご家族のヘアカットなどのサービスをご提供
株式会社 GARDEN様
株式会社レスイズモア様 ほか
- 移動に関するサービスのご提供
スカイマーク株式会社様
両備ホールディングス株式会社様
グッドカーライフ株式会社様 ほか
- 参加者に、家族の誕生日等のアニバーサリー時にプレゼント・サービスをご提供
株式会社アウラ様 株式会社アミティ様
Flower Gift 花夢様 小坂仁都美様
株式会社テイコク製薬社様
一般社団法人スマイルコンパス様 ほか
- 地元の方によるご支援
新城彰様 当真嗣平様 徳元佳代子様
学校法人興南学園 興南高等学校様 ほか



株式会社カトープレジャーグループ様



学校法人興南学園 興南高等学校様



■ドリーム

プロスポーツ&アーティスト界から
夢と勇気をいただきました。

- [プロスポーツ]
ドイツ・ボルシア・ドルトムント様
公益社団法人 ジャパンプロフェッショナル
バスケットボールリーグ様
プロ野球選手 炭谷銀仁朗様
プロゴルファー 横峯さくら様
カーリング選手 藤澤五月様・山口剛史様
一般社団法人 なでしこケア様
PGA TOUR 様 木村光宏様 木村沙友希様
登坂絵莉様(元レスリング選手)
岩淵真奈様(元プロサッカー選手) ほか
- [アーティスト]
シンガー 綾戸智恵様
ピアニスト 西村由紀江様
ブルースハーモニカ KOTEZ様
トランペッター 多田暁様



株式会社エビスエンタープライズ様

■CSR活動

たくさんの企業様から事業活動を通じて、
ご協力いただきました。

- 株式会社 ホスピタリティオペレーションズ様
- サイバーソリューションズ株式会社様
- 社会福祉法人 真宗協会様
- 株式会社 ベネフィット・ワン様
- スギホールディングス株式会社様
- 株式会社スヴェンソン様
- ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ様
- ヤンセンファーマ株式会社様
- ゴールドマン・サックス・アセット
・マネジメント株式会社様
- OBI HOLDINGS PTE.LTD.様
- bybit様
- 第一三共株式会社様
- エーザイ株式会社様
- 株式会社ぜん様
- 株式会社リグア様
- 医薬化粧品産業労働組合連合会様

■ファミリー

これまで約388の
ご家族が活動に参加され、
社会の人々に
いのちと“底力”を
教えてくださいました

私たちの道のり、そして、これから

● Hope & Wish 設立

「もし、夢がかなうとしたら、何をしたい？」と難病を患う子どもに尋ねると、その多くが「ディズニーランドに行きたい!」と答えます。そんな“夢の場所”に勤めていた大住力が、「自分の役割」を考え、Hope&Wish「公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を」を立ち上げました。



@大阪、沖縄、広島、長崎、高知、新潟…
● ウィッシュ・バケーション

2010

大切なことは、家族が本当に“しあわせを実感できる場所”をつくることです。全国12箇所の協力地に支えられ、様々な場所で実施しています。

PPD (Parents Permanent Dialogue)

● 両親との会話

ご両親との対話は、お父さん、お母さんご自身の生まれた頃のお話、半生も懐かしく振り返ります。そのような時間から「家族・いのち・しあわせ」の本当の意味を教えてください。私たちは“支援する”側ではなく、“学ぶ”側だったのです。

2016

2014

2017

2018

2020

国際ビジネス賞

● スティーヴィー賞 金賞受賞

フランス・パリでの授賞式では、大阪の米田さん家全員に列席をいただき、スピーチを披露していただきました。



女性和太鼓奏団

● 「ひまわりのやうに」創設

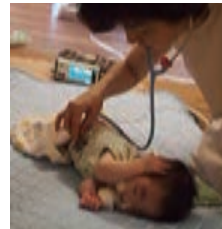
メンバー全員が、難病を患う子どものお母さんです。忙しい時間をやりくりして、練習を重ね、様々な場で演奏を披露しています。贈られる拍手と喝采が、彼女たちの自信につながり、明るい光で社会をも照らしています。



小児訪問看護ステーション

● 「ダイジョブ」を開設

病気の子もだけでなく、その家族、特に子どもをケアする「お母さん」の精神的・社会的サポートを行う小児訪問看護ステーションを開設しました。医療的ケアだけでなく、高いホスピタリティで“家族のしあわせ”を創ります。



● 映画製作

『Given～いま、ここ、にあるしあわせ～』

難病を患う子どもとその家族の日々の暮らしを、より多くの方に知っていただくために、3家族に密着しドキュメンタリー映画を完成させました。本当の「家族・いのち・しあわせ」について、また、新たな気づきがありました。

第6回(2017年度)「日本医学ジャーナリスト協会賞」映像部門大賞受賞

難病の子どもと家族のための就労支援

● 職業紹介事業所「出番です!」を開設

難病を患う子どもと家族の就労支援事業をスタートさせました。社会の一員として、しっかりと“ひとのために”働く環境を整備します。

日野原重明先生のプログラムを継承

● 「いのちの授業」

当団体永久名誉顧問・医師の故・日野原重明先生が全国の小学校で行って来た「いのちの授業」を、私たちが受け継ぎ、主に小学生を対象に“いのち”をテーマにした、無料出前授業を実施しています。

家族のもとに出向いて…

● ホームパーティーの開催

難病の子どもたちの中には、外出できない子どもや、ベッドを離れられない子どもも大勢います。そして、そのほとんどは“お母さん”がずっと見ていて、育てています。そちらに出向いて行うパーティーを実施しています。

● 「青と碧と白と沖縄」オープン

沖縄県国頭郡恩納村に、誰もが宿泊できるレスパイトホテルをオープンしました。



● 働きがいのある会社ランキング3位受賞

2021

2022

● チャリティーゴルフ 第一回 LOVE FAMILY CHARITY CUP - HOPE IN ONE -

「ゴルフ場からチャリティーを」をコンセプトに、難病の子どもと家族を支援することを目的としたチャリティーゴルフイベントを開催しました。第一回大会アンバサダーに、横峯さくらプロを迎え、ゴルフとチャリティーオークションパーティーを実施、参加者全員が「家族」「生きる」について改めて考える機会となりました。



● 100年カレンダーセミナー

代表大住力の著書「一度しかない人生を『どう生きるか』がわかる100年カレンダー」のセミナーを開始しました。



社会貢献支援財団

● 第56回 社会貢献者受賞



● Ready to Stand プロジェクト

100年カレンダーセミナーを軸に、Ready to Stand (立ち上がる勇気) プロジェクトを始動しました。



● 院内ラジオ

「Hope&Wishラジオ」

全国のこども病院や小児がん拠点病院等で、病気に向き合っている子ども、保護者、医療従事者などから「本音」を伺い、ラジオを聴いている人たちに勇気を持ってほしいという想いから始動しました。



● ハッピー振袖プロジェクト

病気により身長が伸びず、成人式の振袖のサイズが合わない子どもたちへ向け、眠っている振袖の仕立て直しをするプロジェクトを始動しました。

2023

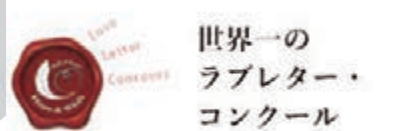
2024



2025

● 世界一のラブレターコンクール 始動

2026～これから



世界一のラブレターコンクール

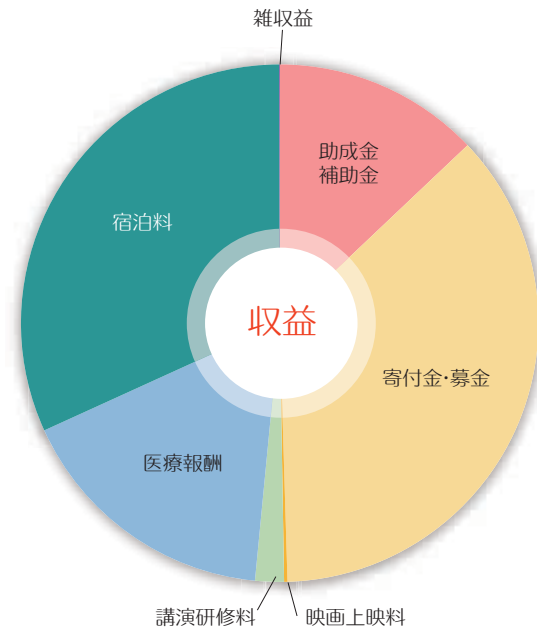
財務会計報告

2024年度（2024.11-2025.10）の収支は以下の通りです。

■ 収益

単位：円

助成金・補助金	8,350,008
寄付金・募金	23,629,080
映画上映料	135,230
講演研修料	1,160,000
医療報酬	10,765,576
宿泊料※	20,506,538
雑収益	28,673
合計	64,575,105

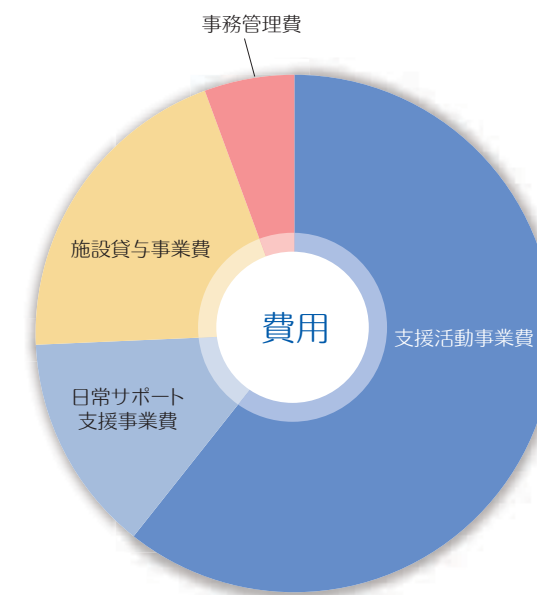


※青と碧と白と沖縄での宿泊料となります。

■ 費用

単位：円

支援活動事業費※	47,576,263
日常サポート支援事業費	10,697,197
施設貸与事業費※	15,739,701
事務管理費	4,410,199
合計	78,423,360



※啓発宣伝事業費、地域普及事業費、募金活動事業費は、支援活動事業費に含まれます。

※施設貸与事業費とは、青と碧と白と沖縄の管理運営事業となります。

さまざまな支援方法

当団体は皆さまからのご支援・ご協力により活動することができています。全国の皆さまからのご寄付に加えてさまざまな形によるご支援方法がございます。いま、あなたができることを…皆さまからのご協力をお願いいたします。



ふるさと納税 返礼品を開始しています！

返礼品の一例



「公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を」は、佐賀県のふるさと納税「佐賀県NPO支援」の支援先として、正式に認定されています。この制度は、佐賀県がNPO等による地域活動を支援するために設置したのもであり、皆さまからの「ふるさと納税」として活用できる制度となります。また、佐賀県ふるさと納税に伴う返礼品を開始しております。ぜひこの機会にふるさと納税を通してのご支援をよろしくお願いいたします。なお、本寄付金は、当法人の公益活動のために大切にに使わせていただきます。



簡単にできます！
納税・寄付はこちら

【ふるさとチョイス】
（ふるさと納税サイト）
<https://www.furusato-tax.jp/city/product/41001/317>

マンスリー会員（毎月のご寄付）
都度寄付（単発のご寄付）
年間法人会員
チャリティ商品売上の寄付



うかじゆいまる基金
「青と碧と白と沖縄」の運営のための寄付です。

サービス支援
普段行っているサービスや提供している商品等、
さまざまなかたちでの支援を募っています。

遺贈・相続による寄付
遺贈とは、遺言書により、遺産の一部または全部を、特定の個人や団体に贈与することです。当団体への遺贈は税制優遇が受けられ、相続税がかかりません（一部を除く）。また相続税の申告期限内にご寄付いただいた相続財産には、相続税が課税されません。



ドキュメンタリー映画
『Given～いま、ここ、にあるしあわせ～』自主上映会



女性和太鼓奏団「ひまわりのやうに」
スポンサー



いいこと¥1510喜風チャリティー
ご自宅などで眠っている逸品を、専用バッグに詰めて専門業者が買取換金し、それを寄付に繋がります。



LEA研修
家族とのテーマパーク同行体験や、ボランティア等の体験をもとに人間力を形成。社員研修がそのまま社会貢献になるという、画期的な試みです。



ソコリキ教育研究所
代表の大住力の講演、研修の窓口「ソコリキ教育研究所」は、収益を寄付し活動に活用しています。



褒章制度
内閣府より、私財を寄付された個人や法人に授与される「紺綬褒章」の公益団体認定を受けております。個人の方は500万円以上、法人・団体は1,000万円以上のご寄付をいただいた場合に、天皇から授与される紺綬褒章授与申請の対象となります。遺贈・相続によるご寄付も対象になります。



※当団体は内閣府より「公益社団法人」の認定を受けています。当団体への寄付金は特定公益増進法人に対する寄付金の特例（法人税法施行令77条第1項第3号）として、個人・法人ともに寄付金控除の対象となります。

ご寄付・ご支援について詳しくは、公式ホームページ (<https://www.yumewo.org/>) をご覧くださいか、お電話にてお問い合わせください。